

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
【4 公共交通】	
粟崎部会長	女満別空港に来る外国人は観光目的なのか、買い物が目的なのか。
小室主幹	2月のタイのチャーター便に関していえば、観光目的である。冬に来る場合は基本的に流氷観光であるが、一部タイの方は北見で買い物をしたと聞いている。
粟崎部会長	飛行機では、羽田や札幌からの、特にシルバー席ではチケットが取れないほどであるが、バスは儲からないのか。
小室主幹	傾向としては、レンタカーを利用している方が非常に多く、観光の形態が変わってきているということがある。また、このバスのことを知らなかったというであり、PRが不足しているということもある。
川越委員	外国人が女満別空港を利用して、レンタカーを借りて市内を回ったりする方はいるのか。
小室主幹	一般の方では見受けられるが、チャーター便などの場合はツアーを組んでいるので、バスでの移動が主になっている。ただし、冬の場合は阿寒で死亡事故が起きたこともあり、JRやバスで移動したいという話は聞いている。
志布委員	外国人観光客によって、美幌町への恩恵はあるのか。
小室主幹	追跡調査していないため不明であるが、観光物産協会によると、中国系の方などがJRの時間待ちの間にぼっぼ屋で買い物をしていくということもあるということである。冬の間は駅周辺だと思うが、夏は美幌峠まで行っているのでは、一部恩恵を受けていると思う。
田村主幹	先日の吹雪の時に避難所に台湾、香港と思われる外国人の方2組が避難してきた。それぞれ車で網走、阿寒に行く途中で吹雪に遭ってしまい、避難してきたということがあった。
池野本委員	言い方は悪いが、美幌は通り過ぎる町である。どんな団体が来ても網走や阿寒、知床などに行ってしまう。
小室主幹	従来から、通過型観光から滞在型、滞留型観光へと言っているが、滞在型となると宿泊が弱く、滞留型となると体験するものが少なく、どうしても食事をして峠を見てというパターンから脱却できない。 このような状況であるので、関係団体と協議しながら滞留型を探っている状況である。
佐々木委員	美幌へのツアープランのようなものはないのか。
小室主幹	ツアーはないが、長期滞在型観光としてみどりの村を拠点として「美幌の休日」という名称でパンフレットを作っており、5日間滞在中で、美幌でゆっくりしていただいたいというプランはある。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
佐々木委員	そのプランではどういったことをするのか。
小室主幹	キャンプ場や食べ物などであるが、パンフレットを見てもらえればわかるので、今度お持ちする。
佐々木委員	魅力があれば来る人はいると思うので、伝え方がうまくないのではないだろうか。認知度が上がるような広告をするのが良いと思う。現在はインターネットが普及しているためそれを利用するとか、観光の会社に依頼することが良いと思う。観光客が増えることによってメニューも増えるのではないか。
小室主幹	平成27年度予算に計上しており、インターネット広告として、1回につき2週間の掲載であるが、年4回掲載する予定である。
佐々木委員	掲載するところもあり、絶対見てもらえるところにお金をかけることである。例えば観光場所やバス・飛行機の時刻表などは、出かけるときは見るものである。
小室主幹	インターネット広告は一年目であるため、安価で効率良くなるよう研究していきたい。
池野本委員	美幌町の観光は何型を目指したいのか。
小室主幹	滞在型は難しいので、通過型を脱却して滞留型を目指していくしかないと思う。食べ物を食べてもらい、買い物をしてもらおうなど、少しの時間でも美幌にいてもらうため、食の魅力で訴えていきたい。他の町に比べ少ないが、体験も入れていきたい。
池野本委員	1年を通じては難しいので、季節を絞っていく方が良いのではないか。
疋田委員	美幌には和牛まつりがあるので、それを中心としてキャンプを入れたり、自然を見てもらうなどのツアーを組んではどうか。
小室主幹	<p>昨年の和牛まつりのゲストだった芋洗坂係長に、みどりの村へ宿泊してもらったが、バンガローで仲間達と盛り上がったようであり、大変気に入ってもらった。このようなことを参考にしていきたい。ただ、ホテルとは旅行会社がやったことがあったが、うまくいかなかったことがあったので、ホテルとはうまくいかないかもしれない。</p> <p>今の和牛まつりとキャンプ場のセットのプランは面白いと思うので、今後関係団体と協議していきたい。</p>
池野本委員	<p>和牛まつりだけのツアーではつらいと思うので、前後に阿寒を入れたりするのも良いと思う。</p> <p>主な取組の中に、空港アクセスの充実についてとあるが、ターゲットは誰なのか。</p>
小室主幹	女満別空港に降りた人が、美幌峠に行く手段がないということから始

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
佐々木委員	<p>まった。ただし、美幌の人も峠に行ってもらいたいということもあり、陸橋でも乗り降りできるようにし、峠の湯にも行けるようにしている。</p> <p>このバスの目的としては、美幌峠まで行きたいというニーズがあるからなのか、それとも峠などにお金を流したいということからなのか。</p>
小室主幹	<p>広域観光という大きな目的、狙いはある。そのためには東京から来た人を何とか峠まで足を運ばせて、そこから二次交通で釧路に行ってもらっても良い。</p>
加藤委員	<p>自分もこのバスが始まって2年位手伝ったことがあり、その時は若い世代から高齢者まで色々な方が乗っていたが、乗る人数は少なかった。今は駐車場所も増えたということであるが、乗る人数も増えたのでは。</p>
小室主幹	<p>平成26年は前年より乗車人数は落ちている。阿寒バスとも原因を検証しているが、わからないのが現状である。</p>
加藤委員	<p>自分が聞いたところでは、インターネットで探してきたが、普通の人ではわからないのではないかと saying いた。</p>
小室主幹	<p>やはりPRが不足しているというのは間違いないと思う。</p>
池野本委員	<p>美幌峠に10人位でも宿泊できるペンションでもできれば良いのでは。</p>
小室主幹	<p>美幌峠は国立公園で厳しい規制があるため、簡単には建てられない。</p>
池野本委員	<p>そうすると美幌峠を売り出すための糸口が見つからない。</p>
小室主幹	<p>美幌峠の魅力発信ということで、若者を対象としたビールパーティーや、朝焼けを見るイベントで、特に若者一人一人がSNSで広告となってもらえるよう、昨年は若者をターゲットとして開催した。</p>
佐々木委員	<p>例えば、美幌峠で使える500円分のクーポン券とかはどうか。</p>
小室主幹	<p>今でも永澤さん単独で、道の駅のスタンプラリー帳を持ってくれば50円引きということを実施している。</p>
佐々木委員	<p>やはり、そこに行きたくなるような魅力作りが必要。雲海のツアーを組んだら面白いのではないかと saying 。</p>
池野本委員	<p>そうすると宿泊場所が必要になるので、整備できると良い。</p>
志布委員	<p>来たくなるようなPRが必要と思う。</p>
佐々木委員	<p>PRするものを作らなくてはならない。</p>
池野本委員	<p>何か日本一のものがあれば便乗してPRできる。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
川越委員	スターダストカーニバルは良かったと思う。
佐々木委員	良かったので、復活させたら良いのでは。
小室主幹	国道を止めてしまうため、非常に難しい。始めたときもかなり骨を折ったと聞いている。
疋田委員	美幌町の映画を作って全国に広めたら良いのではないか。
加藤委員	美幌で映画を作り、エキストラ2,000人とかを募集すればたくさんの方が美幌に来るし、映画ができればエキストラで出演した人や応募した人も見に来る。
池野本委員	今の美幌の知名度でいえば和牛まつりなので、それを目的としたチャーター便という発想しかない。
小室主幹	宣伝させて欲しいが、昭和28年の君の名はに出演していた石原まき子さんが今年6月7日に来町する。その時にびほーるで、8ミリで上映会をするのでぜひ来場してもらいたい。
疋田委員	一度美幌に来たことがある歌手などにもう一度美幌に来てもらい、そこで歌ってもらえれば、美幌の方も含めてその場所に行ってみたいと思うのでは。
小室主幹	今も頑張っているということで思い浮かぶのは、鈴木京香さん、古村比呂さんである。
	※ 商工観光Gの現計画については継続することで了承。
【5 地域の情報化】	
池野本委員	この講座を学ぶ方は年配者が多いのか。
荒井主幹	30代前半から80代の方までいる。
疋田委員	高校でしか講座は受けられないのか。
荒井主幹	設備が整っていることと、協力してくれるというのが高校である。
疋田委員	自分は子供達に教えてきたが、小学校も中学校もパソコンは教室にある。使わせないということなのか。
野村主査	小中学校はパソコンの環境は整っているが、開放講座は学校の休みである土曜日に実施しているということで、学校側の理解が必要になる。美幌

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
荒井主幹	<p>高校での開放講座は昭和54年から実施しており、教職員の入れ替わりがありながらも続けてもらっている。</p> <p>地域に還元ということで、たくさんの人に学校を知ってもらいたいということもある。</p>
粟崎部会長	<p>パソコンの基礎は小中学校で教えているのでは。</p>
荒井主幹	<p>覚えたいという方は年齢の高い方が多い。</p>
野村主査	<p>具体的には、高齢の方が遠くに離れているお孫さんとメールをしたいとか、年賀状を作りたいなど多岐に亘っている。</p>
池野本委員	<p>これは無料なのか。</p>
野村主査	<p>受講料として、テキスト代やUSBメモリー代、保険料合わせて2千円となっている。</p>
池野本委員	<p>需要がかなりあるのであれば、村田システムなど民間にお願いするということはできないのか。</p>
野村主査	<p>講座としての環境がどこまでできるかということもある。</p>
池野本委員	<p>現在、20人の受講者ということであれば、毎回全員来るわけでもないと思うので、1年間を3台位のパソコンで毎週回していくというようなやり方もあるのではないか。</p>
佐々木委員	<p>情報化時代に対応した人材の育成とは、具体的にどこまでを指しているのか。</p>
荒井主幹	<p>大きな課題であるので、社会教育グループとしてかんでいる部分では、パソコンに触れるという基礎的なところである。</p>
野村主査	<p>職業訓練校が行っている、失業者のための再就職支援というのも広い意味ではこのキーワードに含まれると思うが、社会教育グループとしてはこの講座になる。</p>
荒井主幹	<p>学校教育ではパソコンを使った教育を行っているため、学校教育を外れたできるところを社会教育グループでやっているということになる。</p>
粟崎部会長	<p>北見になるがシステムサプライという会社もあるので、そのようなところを利用するのも良いと思う。</p>
野村主査	<p>実際にパソコン教室の問い合わせがあっても、やっていないという回答しかできないのが現状である。先程の村田システムに問い合わせはどうかという回答ができれば、一步踏み込んだ対応になるので良くなっていくと思う。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
荒井主幹	マナセンを希望してくる方は、安価でできることを求めてくる。
志布委員	失業者対策では年間通してやっているのか。
野村主査	再就職支援では年に2回やっているようである。
志布委員	初期の頃、自分が過去に習いに行ったが、その場所に設備があった。
荒井主幹	通常、それだけの設備を置いておくと大変であると思う。例えばOSが変わると全部買い換えなければならず、それだけでもかなり費用がかかってしまう。
田村主幹	職業訓練校にはコンピュータールームのような場所はないので、持ち込んでいる可能性はある。
佐々木委員	年2回というのは1回につき何ヶ月位をスパンとしているのか。
田村主幹	具体的にはわからないが、例えば1月か2月の間に週1回で実施していたと思う。
野村主査	高校では5月から9月までの4ヶ月の間で延べ10回前後の開催になる。
池野本委員	社会教育グループとしては、人材を育成して最終的にはどうなればよいと考えているのか。
荒井主幹	生活が豊かになれば良いと思うし、自分たちの活動が豊かになり、広がりができ、その中で新たな活動ができて人の繋がりができれば町が生きてくることになる。
池野本委員	インターネットも含めての講習会で、人材育成という考えなのか。
荒井主幹	講座では、簡単であるがインターネットのレクチャーもある。インターネットをどうするかというのは社会教育では考えていない。ただ、インターネットが生活に及ぼす部分は何なのかということでは、青少年育成や教育講演の開催などで動いている。
池野本委員	情報化については、多くのところに関わっているのはわかるが、セキュリティについては誰が教えるのかということがある。使い方は分かるが、自分の身を守る方法はどこで教えてくれるのかということである。
荒井主幹	表裏一体であり、使い方だけ教えて危険なところは教えないという訳にはならない。実際に、危険なサイトなどを教えてくれている。やはり生活を豊かにしていくには安全性も同じだと思う。
池野本委員	最終的には講座を受けた人が税金申告でも良いが、インターネットを経由して電子申請システムにもっていければ最高だと思う。そうなると、や

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
荒井主幹	<p>はりセキュリティの部分を教えてあげないと、電子申請システムまではいけない。まだまだ時間のかかることではあるが。</p> <p>インターネットまでいかないまでも、パソコンに触れるということだけで楽しみが増えるので、そこまでできればと思う。</p>
野村主査	<p>実際にパソコンに触れるのが初めてという方もいるので、インターネットは次の段階として考え、パソコンに触れる裾野を広げていきたい。</p> <p>先程の村田システムができるかということは良い話であったので、今後リサーチしていきたい。</p>
池野本委員	<p>そこまで安くできるかわからないが、美幌高校に迷惑かけているような状況だと思う。</p>
志布委員	<p>できればマンツーマンでも教えてくれると良い。</p>
野村主査	<p>そこまで至らないのが実情である。</p>
疋田委員	<p>講座の中で、その人の目的などに応じてグループ分けして教えてもらうのも一つの方法ではないか。</p> <p>※ 社会教育Gの現計画については継続することで了承。</p>
【6 防災】	
池野本委員	<p>防災という一括りの話をするのに、なぜ総務とまちづくりの二つのグループが絡んでいるのか。</p>
田村主幹	<p>元々防災は総務グループの庶務担当で担当していたが、近年の異常気象等による防災意識の高まりの中で平成24年度から防災担当を置いて対応している。</p> <p>自主防災組織は防災ではあるが、自治会活動の中の防災という位置付けであり、まちづくりグループが所管になっている。</p> <p>自主防災総合訓練が実施されているが、まちづくりが所管となり総務は参加している。</p> <p>課題としては、町が主になり総合的な訓練をやらなければならないという認識に立っている。本当は一括りに訓練すれば町民はわかりやすいが、一方では住民自治を大切にする精神もあるため、組織的にはこのような状況になっている。ただし、常に連絡、連携を取り合っている。</p>
栗崎部会長	<p>三代前の町長の時だったと思うが、自治会連合会の総会で、防災とかが町は考えているのかという質問をしたところ、考えていないという答えだった。実際に災害が起きたときに食料や毛布などはどうするのかと聞くと、近隣町村と提携しているので借りたり貸したりできると言っていた。また、電話線が切れたり、橋が落ちたりしたときにはどうするのかと</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
田村主幹	<p>聞くと、これからの課題と言っていた。</p> <p>そのうち、自治会連合会が真剣に取り組み、元町自治会でも先日雪の中での避難訓練など、毎年独自に取り組んでいる。やはり意識付けと思う。</p> <p>また、旭小の玄関に海拔12mと書いてあった。それを見ただけで大雨や洪水など子供の頃から防災意識が焼き付くのかと思った。</p> <p>町内の避難所は24箇所あり、町民会館や学校には常に意識を持ってもらいたいということで避難所というシールも貼っている。また、昨年ハザードマップを配付し、その中に海拔を部分的に入れていた。</p>
栗崎部会長	<p>今、発電機やジェットヒーターなど置いているところは水が一番先に浸かってしまったり、橋が落ちてしまうのではないかと。</p>
田村主幹	<p>美幌は橋が落ちてしまうと孤立してしまうため、確かにその場所に置くのはどうかという問題はある。課題としては一箇所に置くのではなく、分散しておくということである。本来、備蓄品は避難所に装備したいと考えているので、仮設トイレや発電機、ジェットヒーター等については、今後避難所に移動して保管してもらうように考えている。</p>
栗崎部会長	<p>ディーゼルエンジンのものでは、燃料の軽油が冬に凍ってしまうこともあるので、そのことも考えておいてほしい。</p>
田村主幹	<p>本番の時に使えなくならないよう、月に1回エンジンをかけて点検している。中止になったが、今年の冬まつりでも使ってもらう予定であった。</p>
川越委員	<p>水はけの悪い地域の改善はあるのか。</p>
田村主幹	<p>自治会からの要望で排水対策をしてほしいというものはあるが、大きな事業になってしまう。ただ、毎回避難勧告ということにもならないので、ポンプを常設で置いて、水位が上がったときにポンプアップをしている。また、大雨時には開発に依頼してポンプ車を配備してもらっている。</p> <p>一昨年の大雨時に避難所を設置した。避難勧告を出し、避難所までのバスもあることを伝えに一軒一軒回ったが、避難した人が少なかった。</p> <p>今は、今年の大雪情報のように町のHPのトップに出し、少しでも早く情報を提供して避難してもらうようにしている。</p>
疋田委員	<p>今はお年寄りの方も携帯電話を持っているので、メール登録するのも良いと思う。</p>
田村主幹	<p>昨年2月からあんしんネットびほろがあり、これに登録してもらうと自動的に情報が出るというシステムを作ったので、これを利用するよう進めている。</p> <p>今年は、4回ほど大雪になるので外出は避けて下さいなどの情報を防災担当独自で発信している。今後は、防災情報だけではもったいないので、イベント情報などもお知らせしていきたいと考えている。</p>
池野本委員	<p>実際に警報が出た時に、学校との連携はどのようになっているのか。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
田村主幹	<p>集団下校や臨時休校の判断は学校側ですが、そのような判断が出されたときは総務に情報が来るようになっているので、HPに載せたり、報道に情報提供したりしている。</p>
池野本委員	<p>災害といっても一つではなく、例えば学校のことで、大雨が降って帰ろうとしても帰り道すら確保できない状況などがあるため、災害に関していえば色々なグループで持つのではなく、一つの柱のところで進めていく方が、多様化した災害に迅速に対応できるのではと思う。</p>
田村主幹	<p>所管しているのは総務ということで広く関わっている。実際に災害が起きたときは災害対策本部を立ち上げ、それぞれの部局長が入った中で対応している。災害が起きたときの行動は計画の中で定めているが、池野本委員が言うように、災害では被害が大きくならないようスピードが大事である。</p>
池野本委員	<p>災害はあっという間に来ってしまうので、町民の意識を高めるのも大事であるが、色々な災害を想定したときに、スピードで対応できるとは思えない。</p>
田村主幹	<p>何を想定するかということだと思う。例えば、雌阿寒が噴火して噴石が飛んでくるということが無いとはいえないので、火山の噴火、大雨、地震など、個別に詰めて、役場だけではなく町民の皆さんに情報発信し、自助・公助・共助で対策していく。これが間違いないというものはないので、常に危機意識を持っていく。</p>
池野本委員	<p>美幌にはこのような災害が起きるかもしれないので、どういうことに気を付けなければならないのかというようなリストは、総務では持っていないのか。</p>
田村主幹	<p>計画の中で水防計画があり、その中で今まで被害にあった地域が分かるので、そういったところで把握していたり、土砂災害で危険な地域を把握したりしている。避難勧告などの基準も設けているが、あくまでも基準なので、現場を見るなどして総合的に判断している。</p> <p>※ 現計画については継続することで了承。</p>